

開館時間 (火)～(金) ▶ 9時～17時 ■ 問い合わせ
(土)・(日) ▶ 9時～16時 多久市立図書館 ☎75-2233
休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

「おすすめの新着本」



おかあさんが買ってくれた
かわいいくつ

わたしのくつ

作・柴田 愛子 絵・まるやま あやこ
(ポプラ社)

かおるちゃんは、新しく買ってもらった
かわいい花模様のくつを、大切にしていま
す。お友だちが外で遊ぼうとさそっても、
汚したくないのでお部屋の中で遊びます。
新しいものを大切にしたい気持ちと、だんだ
んと自分のものになっていく様子が描かれ
ています。



羊を通して命の役割を
知った少年の記録

羊に名前をつけて しまった少年

作・樋口 かおり
(ブロンズ新社)

農業高校で畜産を学ぶエイジは、実習で
初めて羊の出産に立ち会います。家畜は
ペットではないと先生に言われますが、産
まれた子羊に愛情を注ぎます。生きる糧と
して生き物の命をいただくということの葛
藤の中で成長する主人公と共に世話をした
羊の出荷までの8か月を描きます。



文献史料から読み解く
江藤新平の生い立ちと死

江藤新平

作・星原 大輔
(佐賀県立
佐賀城本丸歴史館)

明治新政府において、初代司法卿として
法制度の確立に努め、新しい日本の制度づ
くり手腕を発揮した江藤新平は、志なか
ばで非業の死を遂げます。いまだ具体的に
明らかにされていない江藤のさまざまな動
きについて、史料発掘・考証の成果を通じ
て明らかにします。

「その他おすすめの本」

子育て支援施設 催しのご案内

児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆すこやかタイム

毎週土曜日 10時30分～、13時30分～
11/10(土) おりがみあそび
11/17(土) メルヘンタイム
11/24(土) パラシュート作り
12/1(土) クリスマス飾り作り
12/8(土) おりがみあそび

◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時
11/13(火) 子育て講座
『子育てのヒントをもらおう!』
(講師:こどもの城 池田 尚先生)
※託児できます。

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜(祝日休み) 10時～12時
場所 多久市児童館

◆園庭開放(杉の子保育園内)

日時 月～土曜日(祝日休み) 9時～14時

◆子育て相談(電話相談可)

日時 月～土曜日(祝日休み) 9時～17時

このゆびとまれ

☎74-3241 (中央公民館)

子育てのこといっしょにお話ししませんか。

◆着付け教室

日時 12/4(火) 10時～12時
お正月の着物を着よう

【11月の休館日】

3日(土・祝)、4日(日)
(多久まつりのため臨時休館)
5日(月)、12日(月)
19日(月)～29日(木)
(特別図書整理のため休館)
※所蔵図書の点検整理など
通常では出来ない作業を
閉館して行いますので、
期間中は利用できません。
11月30日(金)からは通常ど
おり利用できます。

児童向き

◆きつね、きつね、きつねがとる
(伊藤 遊・岡本 順)
◆きょうのごはん
(加藤 休三)
◆おかあさんの手
(まはら 三桃)
◆もりのおるすばん
(丸山 陽子)

一般向き

◆佐賀県の歴史散歩
(佐賀県高等学校地歴・公民部会歴史部会)
◆光線
(村田 喜代子)
◆光園伝
(沖方 丁)
◆江戸の天文学
(中村 士)
◆丸林さんちの手づくり家具帖
(丸林さんち)

人権教育 No. 187

ともし生

「日々の 暮らしの中に」

動物園に行ったのは何年ぶりで
しょう。たまには、のんびりした気
分で楽しむのもいいよね。なんて会
話しながら園内を散策していると、
「ワニ園」まで来ました。
ワニがたくさんいる池では、もう
すぐ餌やりの時間ということで、人
が集まり始めていました。ワニの食
事は、一週間に一度の食事の良いと
ことで、お腹が減っているのか、苛立っ
ている様子がうかがえます。暴れる
ワニに私は、水をかけられました。
このような中、三歳位の男の子を
連れた若い夫婦がやってきました。
柵にかけよる男の子に、母親は「危
ないから手を入れたらだめよ」と言
いました。男の子は「僕の手、食べ

られる? 食べられてみたい。」母親は、
「食べられたら死んでしまうよ」と言
いました。男の子は「ぼく、死んで
みたい」。その言葉に対して母親
は「何を言っているの、バカじゃな
いの?」と言っていました。
まだ小さな、無邪気な子どもには
多分、食べられたら痛いことも、死
んでしまったら大好きなお父さん、
お母さんに会えなくなることもわか
らないのかも知れない。けれど、わ
からなくても教えないといけない
と思っていました。
「死なないで。いじめないで。自分
を大切にしよう。命を大切にしよう。
人に優しくしよう。」人権教育で、よ
く口にする言葉です。こうしたメッ
セージが言葉だけでは終わらないよ
うに、私たちの日々の暮らしの中で、
大人がしっかりとした態度で、示し
ていくことが大切だと思います。

社会教育指導員 野中久美子